

令和7年度

戸建て住宅の液状化対策研修会



令和6年の能登半島地震では宅地の液状化によって大きな被害が生じました。平成23年の東日本大震災では埼玉県内においても液状化による被害が発生しています。県が平成24～25年度に実施した地震被害想定調査によれば、埼玉県内の液状化による建物の全壊・半壊棟数が最大で17,591棟となる想定もあります。

液状化による被害を軽減するためには、正しい知識を身につけるとともに、発災前に調査や対策を実施する等、平時の備えが重要です。

そこで、液状化・地盤災害・土木災害の第一線で活躍されている、東京電機大学 安田 進 名誉教授を講師にお招きし、液状化調査・対策の動向について解説していただきます。

日 時

令和7年12月2日(火) 13時30分～16時30分

開場予定時間 13時15分

会 場

越谷コミュニティセンター（サンシティホール）

2階 視聴覚室

所在地：越谷市南越谷1丁目2876-1

講 師

東京電機大学
安田 進 名誉教授



【講師プロフィール】

東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻博士課程を修了し、九州工業大学工学部助教授、東京電機大学理工学部教授、同大学研究推進社会連携センター長、同大学副学長などを勤め、地盤工学会副会長、日本地震工学会会長などを歴任。「市街地液状化対策推進ガイドランス（平成26年3月国土交通省）」及び「リスクコミュニケーションを取るための液状化ハザードマップ作成の手引き（令和3年2月国土交通省）」の策定や、東日本大震災や能登半島地震で液状化により被災した諸都市の復興に係わる。能登半島地震における液状化による側方流動現象について、各種メディアで地盤工学の専門家としてコメント。令和元年安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞。

内 容

- ① 埼玉県における液状化対策と県民、事業者、自治体の関係
（埼玉県都市整備部都市計画課）
- ② 液状化調査・対策の動向
（講師：東京電機大学 安田 進 名誉教授）

主 催

埼玉県

申込方法

受講申込書に必要事項を記入の上、下記申込先に E メールで提出してください。受講申込書は県ホームページからダウンロードすることもできます。

【URL】 https://www.pref.saitama.lg.jp/a1102/ekijyoka/ekijouka_kensyu.html

※近日公開予定

【申込先】 a5330-16@pref.saitama.lg.jp

申込〆切

11/27（木）

定員

先着 80 名

参加費

無料

会場案内

【電車】

- JR 武蔵野線 南越谷駅
- 東武スカイツリーライン 新越谷駅
（地下鉄日比谷線・半蔵門線直通）
各徒歩 3 分

【自動車】

- 東京外環自動車道「草加 IC」より約 10 分

サンシティホールには無料駐車場がありません。地下駐車場の利用は有料です。

（料金：110 円／30 分）

また、台数には限りがあり、イベント時には混雑が予想されます。

できるだけ公共交通機関をご利用ください。



留意事項

- ① 申込みの際は、必ず連絡先をご記入ください。大雨、風雪、地震等でやむを得ず中止する場合など緊急時の連絡に使用いたします。
- ② 個人情報については、当研修会の目的以外には使用いたしません。
- ③ 事前に受講決定通知等は発行しません。応募者多数により定員を超過した場合は、事務局にて抽選を行い、受講できなくなった方のみご連絡いたします。
- ④ 当日の資料につきましては、各自印刷等によりご持参ください。
※令和 7 年 11 月下旬に、上記 URL にアップロードする予定です。

問合せ先

埼玉県 都市整備部 都市計画課 開発指導担当
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
電話：048-830-5478